

(別紙4)

事業所名 グループホーム和田

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化に伴う、介護量の増加や終末期ケア、看取りについて。	看取りに関する専門性と精神面等の知識や技術の習得。および医療連携を行なっている訪問看護ステーションとの連携を深める。	法人内の事業所と連携し、看取りに対する研修への参加。 訪問看護ステーションとの勉強会なども検討する。	12ヶ月
2	13	利用者のニーズの多様化、認知症の症状の進行などに対して知識、技術、経験がより必要となってきた。	認知症に対しての理解や対応などの知識や技術のさらなるレベルアップを目指す。様々な利用者のニーズに対して、柔軟な対応ができる。	法人内外の研修へ積極的に職員を派遣する。 職員の希望する研修、職員に必要となる研修、自事業所にとって必要と思われる研修は参加するようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。